巻•頭•言

これからの特技懇

特許庁技術懇話会代表幹事　北田 祐介

令和５年度の特許庁技術懇話会代表幹事を務めております北田と申します。年４回発行しています特技懇誌のうち１号は、代表幹事が巻頭言を書かせていただくことが多いようで、今号では私がその機会を頂戴しました。貴重な機会をいただいたことに感謝申し上げます。

特技懇における代表幹事の仕事は、一言でいうと何でも屋です。代表委員・副代表委員の補佐をしながら、関係の皆さまと色々お話をさせていただいたり、特技懇の今後の方向性について案出しをしたり、委員や幹事の皆さまが各自の役割を遂行しやすいように動いたり、イベントがあればその準備をしたりと、会務全般について何かしら関与をさせていただいています。

その中でも今年の特技懇にとっての重大イベントは、やはり４年ぶりに開催予定の特技懇懇親会です。過去３年間不開催でしたので実施のノウハウも大分失われてしまいましたが、過去の特技懇役員など関係の皆さまのご協力も得ながら、１０月末の開催に向けて一丸となって準備を進めています[1)]。

私が代表幹事に着任した４月時点では、緩和はされてきていたものの未だ行動制限は残っていました。懇親会の開催自体は予定していましたが、本当に開催できるのか、また開催してよいのかと、半信半疑のまま関係の皆さまに着任のご挨拶をさせていただきました。ただ、色々な方とお話をさせていただくと、「懇親会を楽しみにしているよ！」という声も本当に沢山いただきまして、準備をしている立場としては非常に嬉しさを感じるとともに、久しぶりの会を少しでも良いものにしたいと考えるようになりました。

特技懇のもう１つの大きな会務が本誌「特技懇」です。今号の特集は前号に引き続き「庁内ＷＧの活動」です。コロナ禍でも積極的に活動を続けてきた様々なＷＧの紹介がありますし、他にも寄稿や人気の連載など、多彩な記事が揃っていますので、是非ご覧になっていただきたいと思います。懇親会についても、次号以降特技懇誌でご報告させていただく機会があろうかと思います。

また、懇親会、特技懇誌以外にも、会員同士や庁外の皆さまとの交流の場などを企画していきたいと考えています。最近は週末に出かけるとどこも人で一杯ですし（コロナ前より多いような気さえします）、この半年ほどですっかり元に戻った部分も多々あります。その一方で、特許庁でも在宅勤務がごく当たり前のこととなり、勤務時間もより柔軟になるなど、個々がそれぞれ最適な時間、場所で仕事をすることが当たり前になってきました。

懇親会のように同じ日、同じ場所に一斉に集まるイベントもよいですが、業務時間後は時間が取れない、その日は在宅勤務で会場まで出かけるのはちょっと、というような声も聞きます。それぞれ異なった状況にいらっしゃる皆さまのご要望に少しでも応えられるよう、これからの特技懇が何をできるか１つ１つ検討を進めていきたいと思います。何かございましたら、身近にいる特技懇委員や幹事で構いませんので、お気軽にお声がけいただけましたら幸いです。

最後になりますが、日頃の特技懇へのご理解とご協力に深く感謝を申し上げるとともに、引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。それでは、今号も特懇誌をお楽しみください！

1）本稿の執筆時期は懇親会開催前の９月です。